

会報

むすび

奉祝

秋篠宮悠仁

親王殿下 ご誕生

第31号

平成19年4月吉日

●発行所●  
栃木県青年神職むすび会  
広報委員会

●発行人●  
人見文治

●印刷所●  
伴印刷株式会社



## 目 次

会長挨拶	1
次期会長挨拶	2
大麻増体運動	3
研修委員会	4
事業委員会	5
親睦委員会	6
会員神社紹介	7
事業報告	8
役員・幹事・正副委員長氏名	9
新入会員・退職者紹介	10
広告協賛者一覧	11
広報委員会一覧	12
	13
	14
	15
	16
	17

むすび会会長と云う大任を仰せつかり早二年が過ぎました。在任中御指導賜りました諸先輩、またご尽力戴きました役員各位には大変お世話になり心より感謝申し上げます。江戸時代の商人は「店は主の者と思うべからず。店を譲り受け、また譲り渡すまでの間の奉公人と思うべし」とありました。私もこれを肝に命じ過ごして参りました。改めて暖簾を預かる責任の重さを痛感した次第です。

思えば就任早々、神青協一都七県主管を受け、戸惑いながらも会員一丸となり、盛会裡に終える事が出来ました。

また本年度夏には長く行われなかつた修了証を交付する研修会を開催し今回、日光二荒山神社中宮祠に於いて「文化伝統研修会」として多くの会員の参加の下、山岳信仰、伝統文化について学び、翌日には中禅寺湖で禊ぎをし男体山に登拝致しました。実際に登拝することで山岳信仰を肌で感じ理解を得られたと思います。神職は行いが必要不可

欠だと吉田庁長よりお言葉を賜りました。こうした研修会を行い、個人の資質向上に努め斯界発展の為にも隔年毎の開催されでは如何かと存じます。

暮れには神宮大麻啓発活動として「おふだは日本人の心のふるさとのしるし」と書いた幟を揚げ、ポケットティッシュに「おふだをまつろう!」の文字とイラストを入れ日光二荒山神社神橋、宇都宮二荒山神社大鳥居前にて配布を実施致しました。これを機に神宮の御神札について知つて戴き、それぞれの氏神様にご参拝戴けたらと思います。

青年神職むすび会も斯界の為、新会長を始め一層繁忙を極めることと存じますが、会員の皆様には健康に留意され益々のご活躍をご祈念申し上げます、

泣き笑い悲しみ　また喜び歩く　それでもなお辿り着かぬ　それを人生と人は呼ぶ。



# 会長退任挨拶

栃木県青年神職むすび会

前会長人見文治



# 次期会長挨拶

栃木県青年神職むすび会  
会長 小幡 正之

日頃より、栃木県青年神職むすび会の諸活動・諸事業には格別なるご高配ご協力を賜りますこと、先ず以つて厚くお礼申し上げます。去る三月一日に開催されました臨時総会に於いて人見前会長より権を受け継ぎ、図らずも第十八代会長に就任することとなりました。もとより浅学非才の上、実績や経験も不足な身ではありますが、執行部の役員共々と手を携え、歴史と伝統ある当会の更なる発展のため、「一意専心」責務を全うすべく全力を傾注致す所存であります。

先輩諸兄、会員の皆様には益々のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

さて、振り返れば日本国が急発展を遂げる高度経済成長時代といわれる昭和三十七年に当会が産声を上げ、これより数えて本年度は四十五周年の佳節を迎えることとなります。この様な時節に会長の重責を仰せつかりましたことは、身の引き締まる思いであります。

さて、戦後六十年余りが過ぎましたが、我が国は、時代の流れと共に近代国家となりました。しかし、物質的豊かさは確実に

なつたかと思いますが、先人が大切にしていた神仏を拝み、祖先を敬い、日々の生活に感謝する。そして国家や家族を尊重し、人を思いやる心。

このような精神が稀薄になつてしまつた結果が、今毎日のように報道されている殺伐とした事件事故の多発、混沌とした世の中になつてしまつているのではないかでしょうか。

このような中で、我々は青年神職として何が出来るか、何をするべきかを模索して若者らしくフットワークを生かし様々な研修や行事を展開して行ければと存じます。また、当会の目的でもある神社神道の興隆を基に、自己研鑽と会員の親睦を深め、組織である以上は横の繋がりもしつかりした団体でありたいと考えております。

更に本期は、伊原弘之君が神青青年全国協議会の関東地区理事として就任致します。このようなサイクルもチャンスと捉え、県内の活動も全国にアピールする絶好の機会かと存じます。心と力を合わせて会員一同自らの資質を磨き、邁進そして実践して行きたい所存であります。よろしくお願ひ申し上げます。

近年全国的に大麻頒布率が減少傾向にあります。

今回、青年神職むすび会では大麻増体運動の一環として「お伊勢さまと氏神さまのおふだをおまつりしましよう」と記したポケットティッシュを一万個配布いたしました。

平成十八年十一月十一日には日光二荒山神社神橋前で行い、平成十八年十一月二十六日、宇都宮二荒山神社にて一千万家庭神宮大麻奉斎運動モデル支部である宇河支部と合同で配布いたしました。人見会長を始め多くのむすび会員が参加いたしました。

(十二月四日の神社新報掲載記事、並びに当日配布の図柄)



平成18年12月4日  
第2862号

発行所 神社新報社  
<http://www.jinja.co.jp/>  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-1-2  
電話 03-3379-8211 (編集)  
03-3379-8212 (総務)  
FAX 03-3379-8213  
定価 1年間7,200円(税・送料込み)  
月4回毎週月曜日発行  
郵便振路 00160-7-186788

平成26年／西暦2006年



## 大麻増体運動



員

定。(小幡正之通信)

## 二荒山神社神橋で 神宮大麻の啓発活動

【栃木】  
県青年神職  
むすび会  
(人見文治  
会長)は十  
月十日、

日光市の日  
光二荒山神  
社(吉田健  
彦宮司)で、  
神宮大麻奉  
斎の啓発活  
動を実施し、  
会員二十人  
が参加した。  
同会では、今年から一  
般に向けた神宮大麻奉斎

活動当日は、紅葉狩り  
に訪れた観光客で賑はぶ  
同神社の神橋などで、「お  
ふだは日本人の心とふる  
さとのしるし」と書かれ  
た幟を掲げ、行き交ふ観  
光客にポケットティッシュ  
を配布した。

人見会長は、「まづは  
神宮の御札について知つ  
てもらふこと

で、それぞれの  
氏神様で神宮大  
麻を受けてもら  
ふきっかけにな  
ればありがたい」と語つてゐ  
る。なほ、同会  
では今後も県内  
各地で啓発活動  
を実施する予  
定。

## 研修委員会



本年、本会の会員が奉職している日光二荒山神社中宮祠にて平成18年8月29日、30日の両日にわたり研修を開催いたしました。登山も含まれる研修ですので、非常事態に陥らないよう研修委員皆ではひざ突き合わせ、日程や携行品などの検討を重ねました。研修当日は残暑も残る季節ではありましたが、中禅寺湖畔をわたる風は心地よくおだやかでした。天候にも恵まれ、研修会は開講いたしました。開講に際しては栃木県神社庁吉田健彦庁長にもいらしていただき、あたたかな励ましの言葉を頂きました。

1日目の講師陣は栃木県神社庁長 二荒山神社宮司吉田先生、栃木県神社教化委員長 二荒山神社 櫻宜中磨先生、栃木県立しもつけ風土記の丘資料館学芸員 大前神社権櫛宜篠原先生です。神社の歴史のみならず、日本の歴史に基づく様々な考察に興味と意欲を持つて拝聴することが出来ました。

夜は懇親会です。20代の会員も多いむすび会あつて、人見会長を囲みながら懇親を深め、共通の楽しみや悩みを話し合える機会は貴重です。話題も尽きることなく、明日の斯界を背負つて立つ若手神職達は、明日の登山のことは考えず熱心に議論を重ね夜も更けていきました。

2日目はいよいよ男体山登山です。薄曇りのため山頂を確認することは出来ませんが、雨が降ることもなく登拝開始です。勿論、禊ぎも忘れません。佐藤研修委員長を道彦に、一心不乱に禊をいたしました。無事の登拝を願う者、昨夜の宴で背負つてしまつた罪穢れを祓う者、会員一人一

田さんは最後尾を行きますが、黙々と登りつづけました。日光連山の主峰男体山は雄大な姿が魅力です。さぞ、優雅な登山を楽しめるかと思つていきましたが、2合目までその期待はうち碎かれます。登山道は杉木立の中ほど直上してその頂を目指します。その後も岩場あり砂礫あり、そして、足を高く持ち上げないと越えられない場所が連續します。曇天で頂上を見ることも出来ず、眼下に広がつていて、足を高く持ち上げないと越えられない場所が連續します。であろう風景も見ることも出来なかつたのを残念に思います。がら、「一体どこまでこれが続くのか・・・」と思いつつ、黙々と登りつづけました。

頂上には二荒山神社奥宮が祀られています。前日の講義でその歴史を学んでいたこともあり、歴史に思いを馳せつつ参拝させていただきました。昼食を摂りながら後続の皆さんを待ち合わせ、全員が揃つたところで正式参拝をいたしました。その後、篠原先生の指導のもと調度品の調査です。男体山頂上では風雨で土が動かされると中世に納められた沢山の調度品の一部が地表に顔を出します。今回も銅貨・香炉の一部等を目にすることが出来ました。下山の途中には雲も薄くなり眼下に広がる中禅寺湖と中宮祠の町並みを眺めつつ、同時にゴミ拾いを行いました。急勾配のため膝が痛くなつたりする者もありましたが皆無事に下山できました。登坂口の二荒山神社中宮祠では吉田庁長が出迎えてくださいました。

今回の研修では、栃木県が誇る世界遺産である二荒山神社とその靈峰男体山に関する信仰の歴史を紐解くとともに、会員が励まし合いながら登山を出来ました。また、栃木県神社庁のご指導のもと、2日間の研修として認定いただけます。ご協力いただきました関係各位にこの場をお借りして御礼を申し上げます。

## むすび会研修会

実施日 平成18年8月29・30日

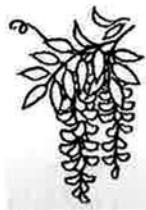
	1日目 29日	2日目 30日
5:00 30		起床
6:00 30		禊・朝拝
7:00 30		朝食
		参拝(中宮祠)
9:00		講師 篠原祐一先生 男体山の祭祀調度品について
10:00		登頂 参拝・昼食(30分間)
11:00		
12:00 30	受付開始 開校式	講師 篠原祐一先生 男体山の祭祀調度品について
13:00	講義 1	参拝(中宮祠)
14:00	講師 吉田健彦府長 演題 日光連山に関する信仰	閉講式
15:00	講義 2	解散
16:00	講師 中嶽輝美強化委員長 演題 日光連山に関する伝統文化	
17:00	夕拝	
18:00 30	夕食	
19:00	講義 3 講師 篠原祐一先生 演題 男体山と二荒信仰(登拝心得)	
20:00 30	入浴(随時) 登拝準備、確認	
21:00		
22:00	消灯	

人の思いも様々でしたが、標高の高い中禅寺湖の湖水は肌に凍つきました。その後、朝食を摂り、昼食と水の準備をしていよいよ中宮祠から登山開始です。先頭ダッシュを決めたのは大学時代オリエンテーリング部でならした中里さんです。大学の部活動で奥さんを射止めたダッシュ力は今も健在。そのままトップでゴールしました。その後には地元、日光二荒山軍団。そして、元気印の人見会長と続きます。

前夜の活躍がたたかたつたか、津元



# 事業委員会



着帯の祝いと腹帯（岩田帯）

妊娠五ヶ月目の「皮の口」に着帯の祝いを行ないます。皮の口とは事実にも思ひます。安産であるためれにあやうり、又、妊娠の身体的負担も大きくなるので、少しでも助らげるよう、腹帯を贈めます。そして、母体の安全を重視に思ふやうが生まれることを、神様に御祈願下さい。

腹帯の巻き方

腰の中央が下脛部の中心にくるよう、時計回りにお巻き下さい。

腹帯 1,000円

## 親睦委員会



平成十八年八月十一日例年通り塩原町上三依にて会員家族親睦会を開催致しました。天候にも恵まれ大勢の会員ご家族に参加を頂き大変賑わいました。釣り堀だけでなくスイカ割りや子供達の鱈掴み取りを行いました。我々神職は日頃は家族サービスがなかなか出来ませんが、親睦会当日は、何事にも父親が中心となり家族をまとめ、父親としての姿を見せる事が出来ると共に、一日中子供達の喜ぶ笑顔も絶える事もなく、とても良い思い出になつたのだはないでしょうか。



◇会員神社紹介◇

# 住吉神社

禰宜 荒川千裕



【鎮座地】

栃木県栃木市吹上町四三三番地

【主祭神】

表・中・底筒男命三柱

【配神】

素盞之男命  
美都波能売命  
少彦名命

【境内神社】

星宮神社（祭神・磐裂根裂之神）

【宮司】

荒川濱子

【例祭】

十月十九日、四月十五日、七月十五日

【由緒・沿革】

大同二年、摂津の国より住吉神社を遷宮し、伊吹山中腹に社殿を建立した。その後、寛政四年十二月二十日、大火により、社殿及び宝物を焼失。時に、徳川幕府関東八州の政事を司るにあたつて、当所は代官所が置かれ、代官職として、高梨丹次の支配を受けた。氏は敬神の念厚く莫大の寄進を寄せ、寛政五年、現在の社殿を修築した。弘化二年、有馬兵庫地頭となつてから、本殿裏に居城を構え、城の守護神とした。





# 平成十九年度 栃木県青年神職むすび会事業報告



四月 十一日	神青協一都七県 第一回定例会議	神社本廳
五月 十八日	第一回役員・幹事・正副委員長会議 (宇)二荒山神社	神社本廳
五月 二十一日	神青協第五十八回定例総会	神社本廳
五月 二十二日	参加者：人見、伊原	
五月 二十九日	県内神社例祭 会員奉仕	
五月 二十九日	御田植祭	
五月 二十九日	むすび会定例総会	
五月 二十九日	とちのみ学園開園記念式典	
五月 二十九日	むすび会親睦ゴルフコンペ	
五月 二十九日	相談役会	
六月 十二日	第十二回神青協一都七県協議会総会	
六月 十三日	栃木県神社庁創立六十周年記念式典 宇都宮市文化会館	南那須町志鳥滝口家水田
七月 十一日	神青協一都七県 第二回定例会議	(宇)二荒山神社
七月 十八日	参加者：人見、伊原、柳田	佐野市
七月 十九日	会員家族親睦会	烏山城カントリークラブ
七月 三十日	むすび会研修	埼玉県さいたま市
八月 二十九日	(日)二荒山神社中宮祀	十一月 十日
八月 二十九日	神青協夏期セミナー	十一月 十日
九月 二十六日	参加者：伊原、小幡	十一月 二六日
九月 二十六日	神青協臨時総会	十一月 二六日
十月 二日	第十回一都七県神職野球大会	十一月 二六日
十月 二日	神青協一都七県協議会研修旅行	十一月 二六日
十月 十一日	参加者：人見、伊原	十一月 九日

十月 十一日	神青協一都七県 第三回定例会議	神社本廳
十月 十二日	参加者：人見、伊原、柳田	
十月 二十一日	抜穂祭	南那須町志鳥 滝口家水田
十月 二十一日	神青・氏青関東地区合同研修会	靖国神社
十月 二十一日	参加者：伊原、津田亮	
十一月 九日	神青協国内諸宗教事情視察研修	
十一月 九日	(日)二荒山神社中宮祀	十日
十一月 九日	神宮大麻領布啓蒙活動	(日)二荒山神社神橋他
十一月 九日	昇級者祝賀会並びに退会者慰労会	(宇)二荒山神社
十一月 九日	神青協一都七県第四回定例会議	鬼怒川温泉
十一月 九日	参加者：伊原、小幡	東京都神社庁
十二月 八日	新年会	
二月 二二日	並びに顧問会・新年会	
二月 七日	神青協一都七県第五回定例会議	宇都宮市
二月 七日	参加者：伊原、小幡、柳田	
二月 二十一日	建国記念の日記念式典	
三月 一日	むすび会臨時総会	
三月 八日	神青協中央研修会	
三月 九日	参加者：伊原、荒井、柳田	
三月 九日	神青協一都七県協議会研修旅行	宇)二荒山神社
三月 九日	参加者：伊原、柳田	宮崎県
三月 九日	神青協一都七県協議会研修旅行	宮崎県

# 平成十九年度 むすび会 役員・幹事・正副委員長氏名

## 役員

### 員

平成19年4月吉日

平成19年4月吉日

### 地区幹事

宮司

宇河支部

宇・二荒山神社

金子

英之

栃木県護国神社

権禰宜

加古

宗人

権禰宜

権禰宜

権禰宜

芳賀支部

塙谷支部

小堀

真洋

八雲神社

津島神社

乃木神社

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

上都賀支部

日・二荒山神社

福井

宏

財大

今宮神社

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

古峯神社

下都賀支部

町井

祐祐

大阿久

岩貴

春日神社

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

唐澤山神社

安佐・足利支部

永澤

宣浩

櫻木

琢也

同右

朝日森天満宮

宮司

権禰宜

権禰宜

権禰宜

佐藤洋誠

(日・二荒山神社)

佐藤洋誠

(古峯神社)

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

荒川 千裕

(住吉神社)

副委員長

加古

英之

(栃木県護国神社)

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

小堀 真洋

(八雲神社)

副委員長

金子

宗人

(宇・二荒山神社)

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

佐藤洋誠

(太平山神社)

副委員長

大阿久

岩貴

(春日神社)

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

権禰宜

福井 光弘

(高麗神社)

副委員長

野崎 正之

(宇・二荒山神社)

事務局

滝口

貴史

(八坂神社)

権禰宜

権禰宜

権禰宜

町井 康祐

(日・二荒山神社)

副委員長

福井 光弘

(高麗神社)

副委員長

小堀 真洋

(八雲神社)

副委員長

金子

宗人

(宇・二荒山神社)

権禰宜

阿久津喜大

(三祖神社)

副委員長

町井 康祐

(日・二荒山神社)

副委員長

福井 光弘

(高麗神社)

副委員長

小堀 真洋

(八雲神社)

副委員長

金子

福田 光弘

(高麗神社)

副委員長

野崎 正之

(宇・二荒山神社)

副委員長

小堀 真洋

(八雲神社)

副委員長

金子

宗人

(宇・二荒山神社)

権禰宜

福田

創立四十五周年実行委員会

委員長

香取 正義

(日・二荒山神社)

副委員長

会計

会計

会計

会計

会計

会計

会計

立

(今宮神社)

副委員長

早乙女和弘

(太平山神社)

副委員長

大阿久

岩貴

(春日神社)

副委員長

金子

宗人

(宇・二荒山神社)

権禰宜

喜大

(今宮神社)

副委員長

町井 康祐

(日・二荒山神社)

副委員長

福井 光弘

(高麗神社)

副委員長

小堀 真洋

(八雲神社)

副委員長

金子

喜大

(今宮神社)

副委員長

町井 康祐

(日・二荒山神社)

副委員長

福井 光弘

(高麗神社)

副委員長

小堀 真洋

(八雲神社)

副委員長

金子

喜大

(今宮神社)

副委員長

町井 康祐

(日・二荒山神社)

副委員長

福井 光弘

(高麗神社)

副委員長

小堀 真洋

(八雲神社)

副委員長

金子

喜大

(今宮神社)

副委員長

町井 康祐

(日・二荒山神社)

副委員長

福井 光弘

(高麗神社)

副委員長

小堀 真洋

(八雲神社)

副委員長

金子

喜大

(今宮神社)

副委員長

町井 康祐

(日・二荒山神社)

副委員長

福井 光弘

(高麗神社)

副委員長

小堀 真洋

(八雲神社)

副委員長

金子

喜大

(今宮神社)

副委員長

町井 康祐

(日・二荒山神社)

副委員長

福井 光弘

(高麗神社)

副委員長

小堀 真洋

(八雲神社)

副委員長

金子

喜大

(今宮神社)

副委員長

町井 康祐

(日・二荒山神社)

副委員長

福井 光弘

(高麗神社)

副委員長

小堀 真洋

(八雲神社)

副委員長

金子

喜大

(今宮神社)

副委員長

町井 康祐

(日・二荒山神社)

副委員長

福井 光弘

(高麗神社)

副委員長

小堀 真洋

(八雲神社)

副委員長

金子

喜大

(今宮神社)

副委員長

町井 康祐

(日・二荒山神社)

副委員長

# 新入会員紹介



多田 隆一



多田 めぐみ



秋元 亮平



野澤 功嗣

**住所**：日光市中宮祀二四八四  
**日光二荒山神社職舎**  
**生年月日**：昭和51年4月15日  
**奉務先**：日光二荒山神社  
**趣味・特技**：ドライブ・散歩・映画

**座右の銘**：常にプラス思考  
**好きな異性のタイプ**：しつかりした人  
**座右の銘**：無駄なことなど何も無し  
**座右の銘**：無駄なことなど何も無し  
**好きな異性のタイプ**：義父  
**座右の銘**：自分に厳しく人に優しく  
**好きな異性のタイプ**：周囲に気遣いのできる女性

**座右の銘**：まだまだ  
**好きな異性のタイプ**：まだまだ  
**座右の銘**：自分に厳しく人に優しく  
**好きな異性のタイプ**：周囲に気遣いのできる女性  
**座右の銘**：自分に厳しく人に優しく  
**好きな異性のタイプ**：周囲に気遣いのできる女性

**座右の銘**：初心を忘れぬように  
**好きな異性のタイプ**：心の温かい人  
**座右の銘**：初心を忘れぬように  
**好きな異性のタイプ**：心の温かい人  
**座右の銘**：日々、神明奉仕するなかで神職としての知識、技能を身に付け、夏祭りなどを通して地域社会に貢献したいといふ仕事を通じ、日々成長しています。

# 新入会員紹介



石原奈央子



渡辺 光司

## ◆退会者紹介◆

## ◆祝ご誕生◆

人見 文治

奉務先：温泉神社

生年月日：昭和40年3月10日

コメント：実践とは自分に責任を負うこと。誰かが汗を流さなければ、一つになる活力は生まれない。

第一子氏名：葭田 真由子（まゆこ）  
親からの希望：素直で穏やかな子に育つてほしいと思います。

葭田 真彦

生年月日：平成18年8月8日

親からの希望：元気でたくましく育つてほしいと思います。

田中 教文

第一子氏名：田中 麻友（まゆ）  
生年月日：平成18年8月30日

親からの希望：元気に成長してもらいたいと思います。

多田 隆一

第一子氏名：多田 将大（まさひろ）  
生年月日：平成19年3月26日

親からの希望：元気に成長してもらいたいと思います。

菅原 治彦

奉務先：白鷺神社

生年月日：昭和56年10月4日

コメント：あつと言う間の四年間ではありましたが、会員の皆様には大変お世話になり有難うございました。

住所：鹿沼市草久三〇二七  
生年月日：昭和49年10月22日  
奉務先：古峯神社  
趣味・特技：映画鑑賞・射撃・釣り  
座右の銘：因果応報

好きな異性のタイプ：容姿端麗、目と手の綺麗な人  
これららの抱負など：視野を広く持ち、多方面から物事を見る事の出来る人になれる様に努力して行きたいと思っております。  
生年月日：鹿沼市草久三〇二七  
奉務先：古峯神社  
趣味・特技：読書  
座右の銘：初心忘るべからず  
好きな異性のタイプ：特になし  
これららの抱負など：視野を広くもつて多くの事を学び参拝される方々に信頼のある神職になれるよう努力して行きたいと思います。  
生年月日：昭和41年10月29日  
コメント：お世話になりました。  
今後の皆様のご発展をお祈りしております。

渡辺 幸雄

奉務先：古峯神社

生年月日：昭和41年10月29日

コメント：お世話になりました。

菅原 治彦

奉務先：白鷺神社

生年月日：昭和56年10月4日

コメント：あつと言う間の四年



◆ 祝ご結婚 ◆

**秋元 亮平**

奉務先：乃木神社

挙式日：平成19年2月24日

式場：乃木神社

新婦氏名：志保美

本人のコメント：今後とも皆様より、ご支援・ご助力を頂きますよう御願いいたします。

奥さんより一言：まだまだ不慣れではありますが、主人共々、神明奉仕に勤しみたいと思つておられます。何卒お願ひいたします。

奥さんより一言：まだまだ不慣れではありますが、主人共々、神明奉仕に勤しみたいと思つておられます。何卒お願ひいたします。

奥さんより一言：新しい生活に慣れる間もなく大勢の方々のお陰で、新しい命を授かることができました。今後とも主人と共に明るい家庭を築いて参りたいと存じます。

奥さんより一言：夫婦で力を合わせて皆様に愛される明るい家庭を築いていきたいと思います。

挙式日：平成18年1月17日

新婦氏名：真理

**多田 隆一**  
奉務先：日光二荒山神社  
挙式日：平成18年6月18日

式場：千姫物語

新婦氏名：めぐみ

本人のコメント：妻ともども宜しくお願ひ致します。

奥さんより一言：新しい生活に慣れる間もなく大勢の方々のお

陰で、新しい命を授かることができました。今後とも主人と共に明るい家庭を築いて参りたいと存じます。

奥さんより一言：夫婦で力を合わせて皆様に愛される明るい家庭を築いていきたいと思います。

奥さんより一言：未熟な二人ですでの、どうぞ今後とも変わらぬご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

奥さんより一言：夫婦で力を合わせて皆様に愛される明るい家庭を築いていきたいと思います。

**津田 宏**

奉務先：乃木神社

挙式日：平成18年10月24日

式場：那須神社

新婦氏名：美奈

本人のコメント：未熟な二人で

挙式日：平成18年6月3日

式場：大前神社

新婦氏名：章子

本人のコメント：結婚するのは

体力もお金もかかるんですね・・・

奥さんより一言：夫婦で力を合わせて皆様に愛される明るい家庭を築いていきたいと思います。

奥さんより一言：夫婦で力を合

**田中 教文**  
奉務先：瀧尾神社



# 広告協賛者一覧

●ご協賛ありがとうございました●



祈りをかたちに

神社授与品・記念品御奉製

株式会社 長谷川製作所

代表取締役 長谷川 和夫

本社 〒114-0001 東京都北区墨田2-20-13 TEL 03-3912-6161(代表) FAX 03-3912-3131  
草加営業所 〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町466-1  
TEL 0489-21-1221(代) FAX 0489-21-1515



創刊128周年  
**下野新聞社**

本社/栃木県宇都宮市昭和1丁目8番11号  
〒320-8686 TEL 028(625)1111(代)

<http://www.shimotsuke.co.jp/>  
購読のお申し込みは

フリーダイヤル  
**0120-810081**

## 県内各神社様、工事拝命先(順不同)

日光東照宮  
日光二荒山神社  
宇都宮二荒山神社  
真岡大前神社  
大田原那須神社  
西那須野乃木神社  
氏家今宮神社  
足利星宮神社

矢板木幡神社  
小川温泉神社  
足利權崎八幡宮  
佐野人丸神社  
下野一社八幡宮  
祖母井神社  
足利八雲神社  
一瓶塚稲荷神社

株式会社

**小西美術工藝社**

〒321-1431 栃木県日光市山内2365

〒108-0074 東京都港区高輪2-21-40国際高輪ビル7F  
TEL 日光(0288)54-1198(代) TEL 東京(03)3447-1481(代)

授与品奉製



株式会社

**神路社**

〒516-8611 伊勢市岩瀬二丁目5番29号(私書函26号)  
TEL (0596) 24-5858(代表)  
FAX (0596) 24-5110  
URL <http://www.kamijisya.co.jp>  
E-mail [info@kamijisya.co.jp](mailto:info@kamijisya.co.jp)

## 営業品目

縁起物入おみくじ・金属製守・木札守・紙札守  
金襴綿守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おまもりの奉製

**株式会社 阿部**

本社・工場 〒323-1104 栃木県下都賀郡藤岡町藤岡213-7  
TEL (0282) 62-1010(代表)  
FAX (0282) 62-2061

営業品目  
神具・祭具・鳥居・神棚・みこし・みたまや・御神木札  
絵馬製作販売・御装束・授与品  
神前結婚式場装備一式・やきもの全般・御守奉製

株式会社 **民俗工芸**

本社/〒857-1162 長崎県佐世保市御本町17-2  
TEL 0956-34-5500(代) FAX 0956-34-5511

御注文専用フリーダイヤル

TEL ☎ 0120-534-550 FAX ☎ 0120-872-550

Eメール [info@minzoku.co.jp](mailto:info@minzoku.co.jp)

ホームページ <http://www.minzoku.co.jp>

〔フリーダイヤル〕 0120-164-224  
 東京都足立区保塚町六一四  
 電話 (03) 381-81-46

**京都奉製株式会社**



環境にやさしい  
おまもりをめざして

創業140年

各種御神符・守札  
その他授与品全般

**湊御神符奉製所**



株式会社

**湊**

伊勢市神宮会館前(〒516-0025)

TEL (0596) 22-2442 (代表)  
 FAX (0596) 28-8445

### 各授与品、記念品奉製

金欄綿守、合成樹脂製守、紙札守  
 木札、金属製守、反射ステッカー

・その他各種授与品御希望に奉製致します。

**株式会社 三愛工芸**

〒311-4143 水戸市大塙町字谷津1761-16  
 TEL 水戸 (029)251-2051㈹  
 FAX 水戸 (029)253-5844



**有限会社 モミヂヤ**

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14  
 フリーダイヤル 0120-22-1312  
 FAX 0282-22-1387  
<http://www.t-cnet.or.jp/~momidiya/f-top>

### 創業三百年の伝統

宮内庁・神宮司庁・神社本庁 御用達



武東・調度・御神輿・雅樂器・  
 真珠衣装・授与品・稚兒衣装

〒600-8503 京都市下京区油小路通六条上る  
 本店 フリーダイヤル 0120-075-980  
 授与品部/本店 フリーダイヤル 0120-075-980  
 東京店 フリーダイヤル 0120-075-980  
 福岡店 フリーダイヤル 0120-075-980

### 総合印刷

**株井上総合印刷**

代表取締役 井上光夫

本社 宇都宮市岩曽町1355

TEL (028)661-4723

FAX (028)662-7607

### 誠実と真心で奉仕する 御守・授与品・参拝記念奉製

御一報次第カタログ御送り致します。

**グリーン産商株式会社**

代表取締役 柚木 忠

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号  
 TEL 大阪(06) 6702-6009番(代)  
 FAX 大阪(06) 6797-5896番

### 足袋・和装用品代理店



株式会社 **福生**

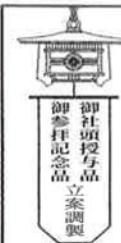
本社 営業所 〒61-8076 高松市多肥上町61-1  
 〒590-0953 堺市甲斐町東1-2-30  
 フリーダイヤル 0120-29-0068  
 フリーダイヤル 0120-29-0051  
 ホームページ <http://www.tabiya.net/>

社頭授与品専門奉製所

(主要奉製品意匠権所有に付、侵害厳禁)

# 帝陸神宝(株)

〒310-0067 水戸市根本1丁目53-4  
 ☎ (水戸) 029 (227) 0511(代)  
 FAX (水戸) 029 (227) 0512



- 〈営業品目〉
- 交通安全御守護
  - 開運招福鈴
  - 文鎮 金盃
  - 各種記念品類
  - 胸像・レリーフ・鑄造類

## 鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1  
 TEL. 03-3814-1811 FAX. 03-3818-8332

社寺建築請負い

## 株式会社 石川工務店

代表取締役 石川恒雄

〒321-1406 栃木県日光市松原町1233番地  
 TEL 0288-53-0408

## 全国各神社御用達

神符・守札・木札・ビニール守・錦守・集印帳  
 交通安全守・御守袋・守護矢・ステッカー  
 奉書紙・書道半紙・画仙紙・色紙・他

創業100年 真心で奉仕する

## 今村紙業株式会社

代表取締役 今村 力男

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門6237-11  
 TEL 055(272)0514(代)  
 FAX 055(272)8818

宮内庁

神社本庁・栃木県神社庁・各県神社庁 御用達  
 全国神社・小笠原流弓馬術礼法教場

## 株式会社 大槻装束店

東京・上野駅前

東京都台東区東上野3丁目17番9号

電話 03(3835)3201(代)

FAX 03(3835)0617

http://www.ootsuki-shozokuten.com

# 即需 応要

クラフトマンシップに生きる

大きいなる自信。

私たちの願いはいつも  
あなたのそばにいる。

印刷は今、文明から文化へ。



## 伴印刷株式会社

宇都宮市栄町6-10  
 TEL 028-622-8901 FAX 028-622-4525

むすび会  
広報委員一覧

委員長	刀川 治久
副委員長	金子 宗人
委員	葭田 真彦
副委員長	小島 宣紀
菅	金子
稻葉	浩二
菅	立
渡辺	成孝
黒川	幸雄
佐藤	寧子
神山	明子
沼部	拓之
岩松	泰幸

